

問1	アフリカの熱帯地域や南アメリカのアマゾン川流域などで見られる、伝統的な農業形態である「焼畑農業」の仕組みとして、最も適切な説明を選びなさい。（2021年 千葉県公立入試 類似）			
	1. 家畜の糞尿を加工した有機肥料を使い、小麦やトウモロコシを定住して栽培する。	2. 森林を伐採した後の土地に、輸出を目的とした油やしや天然ゴムを大量に植える。	3. 大規模な灌漑設備を整えて河川から水を引き、化学肥料を投入して生産力を高める。	4. 森林を焼き払って生じた灰を肥料として利用し、キャッサバなどの作物を栽培する。
問2	南アフリカ共和国のケープタウンにおける、1年間の気温と降水量の特徴について説明した次の記述のうち、正しいものはどれですか。なお、ケープタウンでは、1月の平均気温が約21度と最も高く、7月の平均気温が約12度と最も低くなる「谷型」の気温変化を示し、雨は気温が低くなる5月から8月にかけて多く降ります。（2015年 佐賀県公立入試 類似）			
	1. 北半球に位置しており、夏季に気温が上がらず、一年を通して降水量が極めて少ないツンドラ気候に属している。	2. 南半球に位置しており、夏季にあたる時期に乾燥し、冬季に降水量が多くなる地中海性気候に属している。	3. 北半球に位置しており、夏季にあたる時期に降水量が多く、冬季に乾燥する温帯モンスーン気候に属している。	4. 南半球に位置しており、偏西風の影響を一年中受けるため、季節を問わず降水量が一定である西岸海洋性気候に属している。
問3	イタリアのローマに見られるような地中海性気候の降水特性について、そのメカニズムと特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2023年 徳島県公立入試 類似）			
	1. 年間を通じて降水量が極めて少なく、わずかな降水は夏季に集中する。	2. 夏季は亜熱帯高圧帯の影響で乾燥し、冬季は偏西風や前線の影響で降水量が増える。	3. 年間を通じて偏西風の影響を強く受けるため、季節による降水量の変化がほとんどない。	4. 夏季は赤道低圧帯の影響で雨が多くなり、冬季は大陸からの季節風の影響で乾燥する。
問4	降水量が極めて少ない乾燥帯などの地域において、特定の居住地を持たずに水や草を求めて家畜とともに移動しながら飼育を行う生活様式を何と呼びますか。（2026年 大阪府公立入試 類似）			
	1. プランテーション	2. 遊牧	3. 定住農業	4. 放牧
問5	シベリアの寒冷な環境に適応した人々の暮らしや住居、およびその背景について述べた文として正しいものを選択してください。（2025年 沖縄県公立入試 類似）			
	1. 年間を通して極めて気温が低いため、地面の熱を逃がさないように厚い石壁で囲み、窓を極端に小さくした半地下構造の住居が普及している。	2. 夏季の強い日差しによって地表の温度が上がりすぎるのを防ぐため、家の周囲に背の高い樹木を植え、壁を白く塗った石造りの住居に住んでいる。	3. 建物からの熱が永久凍土を溶かして地盤が沈むのを防ぐための住居が見られ、夏にはダーチャと呼ばれる菜園で野菜を育てることもある。	4. モンスーンの影響による夏季の多雨と、それによる浸水被害を避けるために、柱を地面に深く打ち込んだ高床式の住居で生活している。
問6	夏季に乾燥し、冬季に一定の降水があるという地中海性気候の特色に適応した、この地域で古くから行われている農業の説明として正しいものはどれですか。（2014年 兵庫県公立入試 類似）			
	1. 広大な土地に大規模な灌漑設備を整え、輸出用の綿花やコーヒーを専門に栽培する。	2. 夏の豊富な降水と高温を利用して稲作を行い、冬には家畜の飼料となるライ麦を栽培する。	3. 夏はオリーブやブドウなどの耐乾性の強い果樹を栽培し、冬の雨を利用して小麦を栽培する。	4. 一年中平均して降る雨を活かして、都市向けの野菜栽培と乳牛の飼育を組み合わせた酪農を行う。
問7	熱帯や亜熱帯の発展途上国において、欧米の資本や技術を取り入れ、茶やカカオ、天然ゴムなどの輸出を目的とした商品作物を大規模に栽培する農園を何といいますか。（2020年 滋賀県公立入試 類似）			
	1. モノカルチャー経済	2. 適地適作	3. プランテーション	4. スクラップ・アンド・ビルド
問8	赤道近くに位置するインドネシアのジャカルタでは、年平均気温が約28.7度と高く、月別の気温変化が一年を通してほとんど見られません。また、年間の降水量が約1,800mmに達し、最も雨が少ない月でも50mm以上の降水があるこの地域の気候帯として正しいものはどれですか。（2020年 奈良県公立入試 類似）			
	1. 熱帯	2. 冷帯	3. 乾燥帯	4. 温帯
問9	1月の平均気温がマイナス20度を下回るほど厳寒である一方、7月には20度近くまで気温が上昇し、1年を通じた気温の差（年較差）が非常に大きい気候帯があります。この気候帯の名称と、そこに広がる広大な針葉樹林の呼び名の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2017年 千葉県公立入試 類似）			
	1. 寒帯とツンドラ	2. 温帯と混合林	3. 亜寒帯（冷帯）とタイガ	4. 熱帯とジャングル
問10	世界の宗教の分布について述べた文のうち、イスラム教の地理的な広がりの特徴を正しく説明しているものはどれですか。（2021年 和歌山県公立入試 類似）			
	1. 西アジアで誕生し、現在は南アジアのインドを中心に信仰されている。	2. 北アフリカから西アジアにかけて分布しているが、東南アジアには普及していない。	3. 東南アジアから中央アジアを経て、北アフリカまで陸路のみで普及した。	4. 西アジアから北アフリカ、中央アジア、そして東南アジアまで広く信仰されている。
問11	日本からアメリカ合衆国のシカゴまで最短距離で移動する際、経路は北極に近いアラスカなどの高緯度地域の上空を通過します。この経路付近の地上で見られる、亜寒帯（冷帯）の景観や人々の暮らしに関する説明として正しいものはどれですか。（2018年 岩手県公立入試 類似）			
	1. 地表面が常に氷や雪に覆われており、樹木が全く育たないため、農業を行うことは不可能である。	2. 夏に雨がほとんど降らないため、地下水路などを利用して乾燥に強い農作物を育てる工夫が見られる。	3. 一年中強い日差しが降り注ぎ、午後の激しい雨によって成長した巨大な常緑広葉樹が密集している。	4. 厳しい冬の寒さに耐えることができる針葉樹の森林が広がり、その木材を利用したパルプ工業などが行われる。
問12	地中海沿岸に位置するバルセロナの気候統計では、夏の時期（6月～8月）に降水量が著しく減少し、気温は1年を通じて緩やかな山なりの曲線を描きます。この気候における冬の気温と、同緯度の日本の都市との比較について述べた文として、最も適切なものを選択してください。（2014年 和歌山県公立入試 類似）			
	1. 冬の気温は、同緯度の八戸市と比較して低く、激しい降雪が見られる。	2. 冬の気温は、同緯度の八戸市と比較して高く、氷点下にならない。	3. 冬の気温は八戸市とほぼ同じであるが、降水量はバルセロナの方が圧倒的に少ない。	4. 冬の気温と夏の気温の差が非常に大きく、八戸市よりも厳しい冬となる。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 森林を焼き払って生じた灰を肥料として利用し、キャッサバなどの作物を栽培する。	熱帯地域の土壌は、強い雨によって養分が洗い流されているため一般に痩せています。そのため、森林を焼くことで発生する「灰」を天然の肥料として活用し、数年ごとに耕作地を移動させる伝統的な農業が行われてきました。化学肥料や大規模な灌漑施設に頼らない点が特徴です。
問2	答え 2 南半球に位置しており、夏季にあたる時期に乾燥し、冬季に降水量が多くなる地中海性気候に属している。	南半球では北半球と季節が逆になるため、1月頃に夏季、7月頃に冬季を迎えます。問題文にある「1月の気温が高く7月の気温が低い」というデータはこの地点が南半球にあることを示しています。また、地中海性気候は温帯の中でも「夏季に乾燥し、冬季に雨が降る」という特殊な性質を持ちます。ケープタウンはこの条件に合致するため、南半球の地中海性気候であると判断できます。対照的に、西岸海洋性気候は年間を通して降水量が平均的であるという違いがあります。
問3	答え 2 夏季は亜熱帯高圧帯の影響で乾燥し、冬季は偏西風や前線の影響で降水量が増える。	地中海性気候の最大の特徴は、夏に乾燥し、冬に雨が降るという点にあります。これは、夏の間は中緯度高圧帯（亜熱帯高圧帯）が北上してその支配下に入るため乾燥し、冬になると高圧帯が南下して偏西風や低気圧の影響を受けやすくなるために起こる現象です。この気候を利用して、夏季の乾燥に強いオリーブやブドウなどの栽培が行われています。
問4	答え 2 遊牧	乾燥帯では農作物の栽培に必要な水分が不足しているため、人々はラクダや羊、ヤギなどの家畜を連れて移動します。この生活様式は、自然環境に合わせて生活拠点を变えることで家畜の餌となる草を絶やさないようにする、厳しい気候に適応した合理的な方法です。
問5	答え 3 建物からの熱が永久凍土を溶かして地盤が沈むのを防ぐための住居が見られ、夏にはダーチャと呼ばれる菜園で野菜を育てることもある。	シベリアなどの寒帯・亜寒帯地域では、建物からの熱が原因で永久凍土が溶け、地盤沈下や建物の傾きが起こるのを防ぐために、高床式の住居が建てられています。また、ロシアなどでは「ダーチャ」と呼ばれる郊外の菜園付き別荘を持つ文化があり、冬が長く厳しい分、短い夏の間はそこでジャガイモなどの野菜を栽培し、自給的な生活や休暇を楽しみます。なお、高床式住居は東南アジアなどの熱帯地域でも見られますが、そちらは主に「湿気」や「浸水」対策を目的としたものであり、シベリアの「凍土対策」とは目的が異なります。
問6	答え 3 夏はオリーブやブドウなどの耐乾性の強い果樹を栽培し、冬の雨を利用して小麦を栽培する。	地中海沿岸部などでは、乾燥する夏には乾燥に強いオリーブ、ブドウ、コルクがしなどの果樹を栽培し、比較的雨の多い冬には小麦を栽培する地中海式農業が発展しました。このように、農作物の選択は気候の周期性（雨温図のパターン）と密接に関わっています。他の選択肢にある稲作は夏の水分が必要であり、酪農は西岸海洋性気候などで盛んな形態です。
問7	答え 3 プランテーション	発展途上国の熱帯地域などで、かつての宗主国である欧米諸国の資本や技術を利用して、特定の農産物を大量に生産する仕組みを指します。自給用ではなく、国際市場への輸出を目的としている点が大きな特徴です。
問8	答え 1 熱帯	赤道付近は一年中太陽の光を垂直に近い角度で受けるため、季節による気温の変化が小さく、常に高温となります。さらに、強い日差しによって上昇気流が発生しやすいため、スコールのような激しい雨が頻繁に降り、年間を通して降水量が多くなるのが特徴です。ジャカルタのように、気温が常に高く降水量も多い環境は熱帯の典型的な特徴を示しています。
問9	答え 3 亜寒帯（冷帯）とタイガ	北半球の高緯度地域に広がる亜寒帯（冷帯）は、冬の寒さが極めて厳しいものの、夏には樹木が成長できる程度まで気温が上がるのが特徴です。この気候条件のもとで、シベリアや北アメリカ大陸北部にはタイガと呼ばれる世界最大の針葉樹林帯が形成されています。寒帯は夏でも気温が上がらず樹木が育たないため、タイガは見られません。
問10	答え 4 西アジアから北アフリカ、中央アジア、そして東南アジアまで広く信仰されている。	イスラム教は、発祥の地である西アジアにとどまらず、歴史的な征服や交易を通じて北アフリカや中央アジアに拡大しました。さらに、13世紀以降は商人たちの活動によって海を渡り、東南アジア（現在のインドネシアやマレーシアなど）の島々にも深く浸透したため、アジアからアフリカにかけて非常に広い分布域を持っています。
問11	答え 4 厳しい冬の寒さに耐えることができる針葉樹の森林が広がり、その木材を利用したパルプ工業などが行われる。	東京とシカゴを最短距離（大圏航路）で結ぶと、アラスカなどの高緯度地域を通過します。これらの地域は亜寒帯（冷帯）に属しており、タイガと呼ばれる針葉樹の森林が特徴的です。この豊かな森林資源は、住宅の建材やパルプ（紙の原料）として利用され、地域の重要な産業となっています。樹木が全く育たないのは、さらに北の寒帯（ツンドラ気候や氷雪気候）に見られる特徴です。
問12	答え 2 冬の気温は、同緯度の八戸市と比較して高く、氷点下にならない。	地中海性気候の大きな特色の一つは、冬の寒さが厳しくないことです。バルセロナの気温曲線を見ると、冬でも氷点下にならないことがわかります。これは、同時期に寒冷な気候となる同緯度の日本（八戸市など）と比較すると非常に特徴的であり、地中海性気候が「夏は乾燥し、冬は温暖で雨が降る」という性質を持っていることを示しています。